



村 た 大 きな 安心!

診療所に佐々木医師(滝ノ沢出身)が着任

予算議会

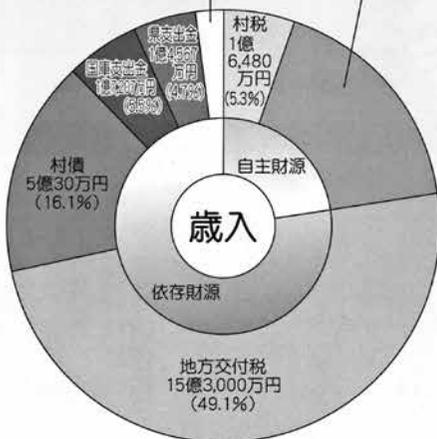
3月定例会

実現を目指して! 1,400万円を可決

歳入

- 地方譲与税 3,300万円(1.1%)
- 地方消費税交付金 2,100万円(0.7%)
- 自動車取得税交付金 800万円(0.3%)
- 利子割交付金 30万円(0.0%)
- 交通安全対策特別交付金 30万円(0.0%)
- 地方特例交付金 20万円(0.0%)
- 配当割交付金 12万円(0.0%)
- 株式等譲渡所得割交付金 4万円(0.0%)

- 繰入金 2億9,091万円(9.3%)
- 諸収入 1億9,350万円(6.2%)
- 繰越金 2,000万円(0.6%)
- 使用料及び手数料 1,150万円(0.4%)
- 財産収入 1,127万円(0.4%)
- 分担金及び負担金 1,102万円(0.4%)



自主財源 7億 300万円(22.6%)
依存財源 24億 1,100万円(77.4%)

3月定例会は、8日から15日までの8日間の会期で開催されました。平成25年度一般会計予算など39議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決されました。

また、一般質問は2議員が登壇し、村政をただし、陳情2件を採択しました。

一般会計予算のあらまし

平成25年度予算は、総合計画（基本構想）の前期3年目として、この計画の基本理念としている「新たな時代に向けて、心に響く村政」の実現に向けて、5つの分野に予算を重点的に配分しています。

村の振興・発展を盛り込んだ一般会計の予算額は31億1,400万円です。前年度当初比で5・7%の増額となりました。

歳入は、村民税、地方譲与税、国庫

支出金が減額し、県支出金、繰入金、諸収入、村債が増額となっています。自主財源は、7億3,000万円です。予算全体の22・6%、3億6,800万円の増額となっています。

村の借金となる村債は、1億4,480万円の大幅な増額となっています。歳出は、農林水産業費が約2億4,600万円の大幅な増額で、ミニライセンサーの建設、公共畜産事業といったハード事業の増額が主な要因となっています。

各会計の予算額

会計名	予算額	増減率(%)
一般会計	31億1,400万円	(5.7)
国民健康保険(事業勘定)	3億2,285万円	(1.7)
国民健康保険(直営診療施設勘定)	8,436万円	(▲9.8)
後期高齢者医療	2,484万円	(▲4.8)
介護保険(保健事業勘定)	2億5,513万円	(▲0.9)
介護保険(介護サービス事業勘定)	3億1,258万円	(4.7)
簡易水道事業	2億7,813万円	(▲50.0)
下水道事業	1億1,102万円	(▲8.9)
小計	13億8,891万円	(▲16.9)
合計	45億2,911万円	(▲2.5)

平成25年度予算

総合計画基本理念の

一般会計 31億

村民1人あたり
約112万円

特別会計も含めると
約162万円

人口 2,774人(H25.4.1現在)

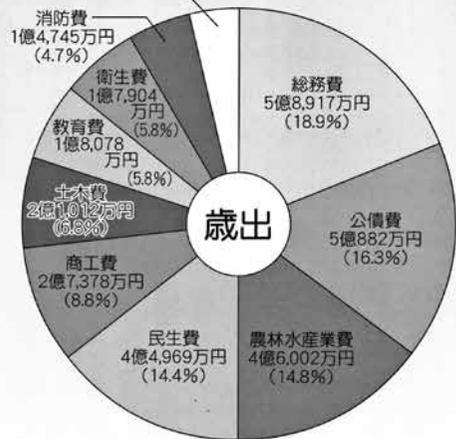
平成25年度の主要事業(500万円以上抜粋)

1 産業振興	
新規雇用奨励事業	1,644万円
各種品目生産支援事業	563万円
県単農業夢プラン事業	2,428万円
育苗施設活用事業	3,911万円
新生産基盤整備事業	2億 842万円
草地畜産基盤整備事業	2,400万円
団体営基盤整備促進事業	1,984万円
新規起業等育成支援事業	8,500万円
第3セクター管理事業	1億2,900万円
公共施設再生可能エネルギー等導入事業	2,100万円
2 安全・生活環境	
ごみの資源化事業	985万円
冬期交通対策事業	5,699万円
防災行政無線施設整備実施設計業務	650万円
地域防災計画改定事業	580万円
秋田県総合防災情報システム整備事業	638万円
統合簡易水道事業	2億 1,463万円
3 教育文化	
奨学資金貸付事業	2,538万円
社会教育施設整備事業	518万円
4 健康福祉	
自立支援給付費事業	6,061万円
福祉医療給付事業	2,000万円
各種検診推進事業	830万円
診療所運営事業	6,611万円
介護サービス給付事業	2億 1,214万円
介護予防サービス給付事業	980万円
介護予防事業	516万円
5 道路・交通・情報	
コミュニティ助成事業	880万円
地域おこし協力隊事業	712万円
地域づくり活動推進事業	570万円
村道新設改良事業(社会資本整備総合交付金)	7,100万円
橋りょう補修事業(社会資本整備総合交付金)	1,000万円

※分類は総合計画における主要5分野です。

歳出

- 議会費 6,565万円(2.1%)
- 労働費 2,657万円(0.9%)
- 諸支出金 1,206万円(0.4%)
- 災害復旧費 85万円(0.0%)
- 予備費 1,000万円(0.3%)



笑顔がまぶしい新入生(東中)

※課の名称は、審査時点の名称です。

25年度予算を審査

25年度の予算審査は、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会（委員長・高橋健）を設置し、3月13日に行いました。
審査の結果、一般及び特別会計8件の全会計を「可決すべきもの」としました。

総務企画課

活動内容は

質問 地域おこし協力隊はどのような活動を行うか。

答弁 農林水産業振興、地域資源の発掘と普及、地域づくりの強化などのほかに村長が認める活動の4つを予定している。

予算化されない理由は

質問 光放送システム構築基金への積立金を計上していない理由は。

答弁 東日本大震災以降、情報化は見直しを迫られ、防災無線をメインに考えており、25年度は協議・検討を行うため計上していない。

1社で何人でもいいのか

質問 新規雇用奨励事業は1社で何人までといった決まりはあるか。

答弁 現在の要綱では決まりがたい。

新規法人はどこか

質問 新規起業育成事業で補助を予定している法人はどこか。

答弁（当初予算では）なるせ農園、東林業のほかに手倉と岩井川で予定されている農事法人のうち1社で計3社を予定している。

再度営業する根拠は

質問 スキー場第4クワツ

ドリフト再開が予定されているが、営業のプラスを見込んでのものか。

答弁 スキー場単体では黒字経営は難しい。雇用の場と考える。

民生課

利用状況は

質問 不妊治療費助成の利用状況は。

答弁 1名の方が年2回利用した。

デメリットは

質問 中学生まで医療費無料という福祉医療にデメリットはあるか。

答弁 受診しやすいことで、

国保、社保、共済などで医療費の増加に繋がる可能性がある。

後の管理は

質問 空き家解体跡地の管理についても話し合いは行われているか。

答弁 あまりにもひどいときは注意するが、土地については原則として所有者の責務と思う。

効果は

質問 ゴミの資源化としてEMの効果はあるか。

答弁 堆肥化事業で月4から5トンの生ゴミを回収しており、生ゴミの減少につながっている。



予算特別委員会審査

農林建設課

特産品試験栽培

質問 平良カブや山ぶどう栽培は、事業主体が自助努力で行うべきではないか。

答弁 出荷量が落ちており、村で直接あるいは地区単位で管理を行い安定した作付けを目的としている。

農業夢プラン事業

質問 事業の対象者は。

答弁 リンドウ関係が4団体、水耕栽培1法人、肉用牛導入1法人となっている。

質問 村が事業主体となるか

質問 手倉西堰の調査費が計上されているが、工事についても村が行うか。

答弁 補助事業の対象となる場合はその方向（村が行う）で進めていく。

設置場所は

質問 ミニライズセンターの設置場所、規模は。

答弁 岩井川と手倉の2箇所、岩井川30ha、手倉20haの規模を計画している。

教育委員会

何年継続するか

質問 村単講師の配置は何年継続するか。

答弁 村の総合計画に基づき、10年の範囲内と考えている。

増額の要望はないか

質問 スポーツ少年団の補助金を増やすことはできないか。

答弁 増額要望はないが、必要であればそれなりの支援をしたい。

簡易照明の設置を

質問 多目的グラウンドでかなり暗くなるまで野球練習をしている。内野だけでも簡易の照明を設置できないか。

答弁 民生課で購入した投光器の使用が可能か含めて検討する。

予算増の理由

質問 保育業務等委託料が増加した理由は。

答弁 入園者が15名多くなり対応する保育士の人件費分となっている。

移転の計画は

質問 現在の給食センターを小中学校の近場に設ける計画はあるか。

答弁 現在の給食センターが妥当かどうか総合的に判断し、移転、改築も視野に入れて検討する。

幸寿苑

今後の運営は

質問 幸寿苑の今後の方向性は。

答弁 公営で運営していくか、指定管理者制度の導入も視野に入れ、どうあるべきを検討していく必要がある。

佐々木 健 夫 議員

急きよ必要な土木技師を募集しないのは

村長 震災対応で技師不足を想定した

質問 昨年4月広報で土木技師を募集したが、合格者がなかったと答弁している。即戦力の技師職員が必要だと答弁していたが、その後2回の募集には技師の募集を明示していないが理由は何か。

村長 4月の募集では1名応募して2次試験で合格に至らなかったが、その後募集しなかったことは3月11日の震災以降技術者が被災地に勤務する人が増えており、極端に人材不足している状況から募集は適当でないということと、募集しても応募者は少ないのではないかとのことで、計画どおりの7月募集と4月からの職員管理上からこの1月募集したものである。

受験資格年齢の違いは

質問 村単独実施の昨年4月と今年1月募集は35歳未満とし、7月募集の全県統一試験は、大卒29歳、高卒24歳としているが、この年齢の違いの本意は何か。

村長 門戸を広くして人材を募集したいという考えから年齢の幅を持たせている。

ラスパイレース指数が高い要因は何か

質問 報道によると村職員のラスパイレース(給与)指数が国の100に対して103.6と県内で6番目の高さであった。大仙市や湯沢市などよりも高い要因は何か。

村長 村職員の年齢構成は下のほうが薄く中ぶくれをして

上のほうが比較的ふくれた構成になっている。これはまちづくり計画による財政経費の削減ということで退職者の不補充など職員には無理を強いってきたため、人事構成はいびつな形になっている。従って村の場合は5歳刻みの中上の年齢層の職員が多く平均的に割り返すと高い数値になっている。また若い層が少ないのも指数を押し上げている要因でもある。

村長等常勤・非常勤特別職の給与・報酬について

質問 職員給与・退職手当削減などに対し、村長等常勤特別職の給与及び非常勤特別職の報酬に対する考えを伺う。

村長 私を含め副村長、教育長とで削減しなければならな

い事態に至った場合は同様にやることので解をいただいている。これは特別職報酬審議会へ諮問することになると思うし、諮問案件以外の委員については随時検討していきたい。

職員の退職手当引き下げについて

質問 国家公務員の退職手当削減に準じて、村の職員退職手当削減も25年度から3年間で15パーセントの削減になるか。また27年度以降は現行比で1人当たり400万円ぐらい減額になると報じられているかどうか。

村長 村は県の総合事務組合に加入しており、退職手当引き下げは25年4月1日施行となり、25年度退職者で140万、26



年度280万円、27年度退職者では400万円が減額になる見込みで、大変厳しい内容になっている。

その他の質問

・農事組合法人の立ち上げについて

村政を問う

質問 本村にはNHKラジオ放送のAM・FMとも難聴地域がある。ABSの鉄塔を建設した経緯とその後、NHKと難聴地域解消の協議はされてきたか。

村長 NHKに対して「東成瀬村は難聴地域である。」とこれまで何回も申し上げてきたが、NHKの受信状況調査によると難聴地域ではないとのことと解消対策に取り組んでくれなかった。民間放送のABSに交渉したところ、鉄塔を建てることを条件に補助制度を使い、ラジオ局を開設したという事である。鉄塔を建設する以前から、NHKに対しては強く申し入れをしてきたが、実現には至らなかった。

質問 今後の難聴解消に向けたNHK又は総務省への働きかけは。

村長 NHKに23年に再度正式に要望書を出したが現在調査結果が届いた段階で、具体的な動きになっていない。総務省に対しても積極的に働きかけたい。

質問 難聴地域の方々に對して、情報提供や心のケアを防災計画に織り込むか。

村長 災害時における要援護者支援の立場からも絶対必要であり、防災計画でも停電対策、ラジオ放送の充実等について積極的に取り組みたい。

給食問題について

質問 本村の園児・児童・生徒に何名の食物アレルギー者がいるか。

教育長 保育園児には魚卵、エビなど5名、小学生は煮魚卵、山芋など11名、中学生にそは1名。

質問 どのようなチェック体制で給食を提供しているか。

教育長 保育園では栄養士が職員に対象園児の除去食の説明を行い、名前をトレイに表示し、配膳段階でも複数の職員で確認している。小学校では児童が食べる前に管理職が献立表と照らし合わせて必ず検査を行い、アレルギー食材がある場合は、注意を促し、除去の判断は本人の体調に依りて行っている。以上の対応

は症状が重くないという医師の判断と保護者から除去食の要望がないことから行っている。中学生については給食でそはは提供されていない。

感染症対策について

質問 なるせ保育園において昨年末ノロウイルス感染による休園措置が取られたが感染者数と経路は。

教育長 園内で初めて確認したのは12月19日トイレで園児が嘔吐した。その後22日2名、23日3名、25日2名計7名がノロウイルスと診断された。

感染経路などは、園内で最初に嘔吐した園児と接触していない園児に集中したことから、湯沢保健所の検証結果では感染経路は特定できない事案と判断された。

質問 感染症などの休園、休校措置の基準は。

教育長 保育園では、罹患した園児及び疑似のある園児を含む人数及び状況を把握したうえで、学校医の意見を尊重して園長が判断している。小・中学校では罹患者が在籍数の10%から15%が目安で学校医と相談し校長が判断を下している。

ラジオ放送NHKと難聴地域解消の協議はされてきたか

村長 難聴地域であるとこれまで何回も申し上げてきた

佐々木 正利 議員



主な質疑

定例会 2 日目の 12 日と最終日となった 15 日、議案に対する質疑が行われました。主な質疑を要約してお伝えします。

行政機構 5 課を 7 課に再編 課設置条例を改正

課設置条例の一部改正

質問 観光を指している村として企画商工課よりも企画商工観光課としたほうがよいのではないか。

答弁 課名についてはコンパクトにまとめるため、商工の中に観光も入っているという大きな意味の商工ということを決めた。

課設置条例の改正内容

改正後(4月から)	改正前(3月まで)
⑦ 成瀬ダム課	① 総務企画課
⑥ 建設課	② 税務会計課
⑤ 農林課	③ 民生課
④ 民生課	④ 産業建設課
③ 税務会計課	⑤ 成瀬ダム課
② 企画商工課	
① 総務財政課	

災害対策本部条例の一部改正

質問 災害対策本部の本部員として消防団長を入れるべきではないか。

一般会計補正予算は

3億8千6百万の大幅な追加

質問 人間ドック補助金の減額の要因は何か。

答弁 PR は行ったが、対象者の年齢が 40 歳という若い区分があることや自己負担も伴うことなどにより、こうした結果になったと思う。

質問 対象年齢で応募がなければ、年齢を区切らず他の人を募集するなどできないか。

答弁 検討する。

質問 建設機械購入費で予算額の 3 分の 1 の減額は同じ大きさ、能力のものを購入しての結果か。

答弁 落札率が、除雪ド

答弁 関係条例・規定ではメンバーにするか明確になっていないが、災害時は消防団の動員もあるので、可能であればそのように対応したい。

一般会計補正予算(第 9 号)の主な内容

○草地畜産基盤整備事業負担金	2 億 2,860 万円
○林道整備事業	1 億 5,710 万円
○村道路面性状調査、補修工事	7,552 万円

請願・陳情

3 月定例会には 2 件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、すべて採択すべきものとし、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。

○最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情
(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 中村秀也
外 1 名

○地域経済と雇用対策強化の為の地方財政の充実・強化を求める意見書提出を求める陳情
(陳情者) 日本労働組合総連合会秋田県連合会横手湯沢地域協議会
議長 齊藤 斉

2月臨時会

2月28日に臨時会が開催され、村長から提出された平成24年度一般会計補正予算（第8号）の1議案と議員発議による北朝鮮の核実験に対する抗議の決議が全会一致で可決されました。

一補正予算の主な内容一

- 雪害対策費 362万円（新規）
公共施設等の除排雪の委託料、雪害による施設の修繕料など
- 冬期交通対策費 2,900万円の追加
除雪臨時職員の賃金、凍結防止剤などの需用費、村道除雪委託料、除雪機械の借上料など

議員発議で北朝鮮の核実験に抗議！

北朝鮮の核実験に対する抗議決議

北朝鮮は、2月12日、3回目となる核実験を実施した。

昨年12月に実施した事実上の弾道ミサイル発射に続き、今回の核実験も国連安全保障理事会決議に違反して強行したものである。

この暴挙は、核実験の中止を求める多くの要請を無視し、国際社会の平和と安全に対する重大かつ深刻な挑戦であり、強い憤りと深い憂慮を禁じ得ない。

東成瀬村は、昭和60年9月に世界恒久平和の実現を目指して「非核平和宣言」を行い、核兵器の廃絶を訴えており、国際平和への切実な願いを踏みにじる北朝鮮の核実験は、断じて容認することはできない。

よって、東成瀬村議会は、北朝鮮が強行した今回の核実験に対し、重ねて厳重に抗議するとともに、国連安全保障理事会決議の完全な履行と今後の核実験及び核開発を直ちに中止し、すべての核を速やかに放棄するよう強く求めるものである。以上、決議する。

3月定例会議決事項名

新型インフルエンザ等対策本部条例
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例
道路の構造の技術的基準及び道路標識の寸法を定める条例
村営住宅及び共同施設整備基準条例
課設置条例の一部を改正する条例
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
防災会議条例の一部を改正する条例
災害対策本部条例の一部を改正する条例
村営住宅管理条例の一部を改正する条例
簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例
村職員の厚生制度に関する条例を廃止する条例
ジュネス休養センター設置条例を廃止する条例
秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
村道路線の認定について
平成24年度一般会計補正予算（第9号）
平成24年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)
平成24年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第4号）
平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
平成24年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)
平成24年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第4号）
平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）
平成25年度一般会計予算
平成25年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
平成25年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)予算
平成25年度後期高齢者医療特別会計予算
平成25年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
平成25年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算
平成25年度簡易水道事業特別会計予算
平成25年度下水道事業特別会計予算
平成25年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入れ
平成25年度簡易水道事業特別会計への繰入れ
平成25年度下水道事業特別会計への繰入れ
指定管理者の指定 ※育苗センターの管理をこまち農業協同組合へ委託する。
平成24年度一般会計補正予算（第10号）

常任委員会

視察レポート

平成24年11月21日に常任委員会合同で管外視察を実施しました。今回はその2回目として、産業建設常任委員会の所管する事項について報告します。

産業建設常任委員会

木材産業の可能性を視察

【視察テーマ】

本村が公有財産として大きな森林資源を有しており、今後、こうした資源がどのように活用されるか市場動向を含めたテーマを設定し、平成24年4月から操業を開始した秋田市河辺の大型製材工場「アスクウッド」を視察しました。

【秋田スギのブランド化】

工場の建設費は23億6700万円で国・県・市からの補助金が約55%、残りは金融機関からの借入金となっています。

建設の目的は、秋田スギの需要拡大とブランド化、林業・木材関連産業の活性化となっております。背景には、秋田県が、スギの人工林面積で国内最大である



工場の内部では若い職員が目立ちました

にもかかわらず、製材工場が零細で経営基盤が弱く、市場競争から脱落し、製材工場が激減するなど資源を活用できない状況の打開です。

主力生産製品は、ラミナ材で製品売上は約30億円、ほとんどが県外への販売となっています。

年間原木消費量は148、000立方メートルで国産材製材ランキングでは国内第4位となっています。

【IT化で若者を雇用】

建物内は、コンピュータで制御する大型機械による製材で、ITに強い高卒の従業員が主力となっており、若い職員が目立ちました。

【波及効果に期待】

本村とは遠隔地であり、雇用など直接的な経済効果はありませんが、大きな森林面積を有する本村にとって、秋田スギのブランド化は、今後の木材市場での需要拡大という可能性も秘めており林業の現場における雇用創出など波及的効果は期待できると思われます。

計画通りに行われているか

財政援助団体等監査

3月6日、村監査委員が、財政援助団体等の監査を行いました。

この監査は、村から補助金など援助を受けている団体の中から事業が計画のとおり実施されているかを確認するもので、今回は、「新規起業等育成支援金」が交付された農事組合法人滝ノ沢ファーム、株式会社タカヤの平成22、23年度における事業の実施状況について、ヒアリングと現地を視察しました。



㈱タカヤで設備の説明を受ける監査委員

温泉掘削事業の工期を延長

議会全員協議会

4月5日、全員協議会が開催され、温泉掘削事業における工事の進捗状況について報告を受けました。

3月29日を期限とした工事でしたが、硬い地層に当たり、掘削の速度が遅くなったことなどから、期限内に工事が完成しない見込みとなり、「事故繰越し」として25年度へ事業を繰り越し、工期を5月15日まで変更するとの説明がありました。

主な質疑

質問 遅れの理由の一つに2回の汚泥ポンプ故障をあげたが、他にも起こっているか。

答弁 今回のようなトラブルは珍しい。

質問 難しい話だが、1000メートルで50℃という温度と必要量を確保できる見込みは。

答弁 約800メートルで49℃の地温があり、1000メートルで50℃を超えると想定している。

質問 1000メートルから地上に揚げたお湯の温度はどれくらい下がるか。

答弁 1〜2℃程度の低下となる。

質問 工期が延びることによって経営的にマイナスとなるのは。

答弁 7月の温泉審議会で温泉として認められなければならぬ。先に秋の開設になると説明している。

質問 1000メートルで量、温度の数値が出ない場合はそれ以上に掘り下げるか。

答弁 可能性があれば考えられるが、一段細い径で掘ることになり温泉審議会の了解を得て工事することになる。今回の契約には含まれていない。

質問 50℃は出すという目標に向かって進めてほしい。

答弁 1000メートルで全部の問題を解決したいと考えている。

豪雪状況を調査

災害対策特別委員会

2月28日、3年連続で豪雪対策本部が設置されたことに伴い、災害対策特別委員会（委員長・富田義行）の調査活動として、村内の豪雪状況を把握するため視察を実施しました。

今年は、各地区から要望された事項の中から、雪に関連するものを選び、冬期間の状況について調査を行い、これらの結果と改善要望などが、3月定例会において報告されました。



地区要望として雪に関連した箇所を視察（田子内地区）

功績が認められる

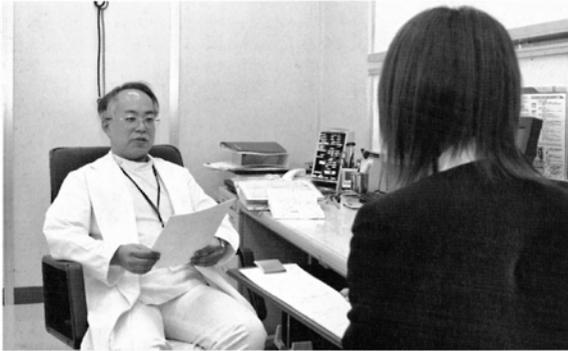
自治功労者表彰

佐々木昭次郎議員が、議員として15年以上在職し、地方自治に貢献した功績が認められ、全国町村議会議長会から自治功労者として表彰されました。

2月16日、県市町村会館（秋田市）で県町村議会議長会による伝達式が挙行され、県内町村の受賞議員を代表し、表彰状を受け取りました。



表彰状を受け取る佐々木議員



エネルギーで活発な感じの先生でした

この人に聞きたい

かほ Kahō 突撃

いんたびゅう

今回は、4月から診療所の所長として着任された佐々木聡（さとし）医師にインタビューしてみました。

かほ 年齢、お聞きしてもよろしいですか？

佐々木 昭和40年生まれ、現在47歳。独身！

かほ 独身？・・・ですか？

佐々木 今はそうです（笑）

かほ これ以上、突っ込みません（笑）、元教育長、佐々木克郎先生の息子さんとお聞きしましたが・・・。

佐々木 はい、長男です。父より品行方正ではありません（笑）

かほ 趣味は？

佐々木 サークット走行（車）やレース観戦ですが、しばらくどっちも行っていないのでそろそろ行きたいですね。ジュネスでスキューもやりたいですね。ケガしたらどうしましう（笑）

かほ 結構、過激な趣味ですね（笑）、東中卒業生ということで村に同級生も多いのでは？

飲みに誘われませんか？

佐々木 そうですねえ、10人以上はいますね。実は、今日これからフチ同級会があります。

かほ いつ頃、医師になろうと決意されましたか。

佐々木 理工系の仕事に就きたかったので決意したことはないです。高校の成績で何となく医学部（秋田大）へ入りました。

かほ 何となくですか？それともスゴいですね？3月まではどこに勤務されていましたか。

佐々木 由利組合総合病院の整形外科、科長として、毎日、手術に追われていました。

かほ 整形外科が専門なのですね。スポーツをする方や高齢者の方に強い味方になりましたね。

佐々木 今、整形外科に必要な機器を少しずつそろえています。

かほ 村出身ということ、村の皆さんもホッとしていると思います。最後にメッセージを！

佐々木 ご縁があってお世話になることになりました。内科系は専門でないので知識の吸収に務めて、皆様の健康維持に微力ですが一助になればと思います。

今日はお忙しい中、ありがとうございます。今後のご活躍をお祈りします。

暫時休憩

きゆうけい

▼今年も2月の末に村の豪雪対策本部が設置されるなど3年続きの豪雪であった。ここへ来てやっと春の気配が感じられる様になったが、雪解けが進まず、例年より積雪が多い気がする。春の農作業に支障がでないか心配である。

▼そんな中、3月、安倍首相がTPP交渉の参加を表明した。賛否両論の中の決断である。守るべきものは守る、ゆずれないものは絶対ゆずれないと言う強い決意で交渉に臨むことを期待したい。

▼東日本大震災から2年、被災された人々が一日でも早く元の生活にもどる事が出来るよう、新しい政府にお願いをしたい。

▼春、爛漫、門出の季節、それぞれの旅立ちに「頑張れ！」のエールを送りたい！

（委員・佐々木謙吉）

東成瀬村
議会だより

No. 170

発行 東成瀬村議会
編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp
印刷/株式会社増田印刷所